

(一社) 全国国立大学附属学校PTA連合会
会長 大竹 昌士
担当副会長 萩原 清明
研修委員長 山口 泰一

一般社団法人 全国国立大学附属学校PTA連合会 (全附P連) PTA研修会 第13回全国大会 二次案内

開催スローガン

子どもたちとこの国の未来のために
～附属がこれまでやってきたこと、これからやっていくこと～

拝啓 向夏の候、貴校園におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は全附P連の活動に格別のご理解とご支援をいただき、誠にありがとうございます。

さて、昨年9月25日に開催致しました第12回全国大会は、完全リモート形式として設営させていただき、動画をご覧いただきました。アンケートにも様々なご感想をいただき、現在は今後に生かすべく検討を重ねて、第13回全国大会に向け、全附P連が一丸となって企画・準備を進めているところでございます。

つきましては、第13回全国大会の概要を下記のとおりご案内いたしますので、貴校園の今年度の活動計画に盛り込んでいただきたくお願い申し上げます。新型コロナウイルス感染対策を万全にして開催する所存でございます。子どもたちとこの国の未来のために、今こそ、国立大学附属学校には地域に根差した教育活動が求められています。参加者が共に学び、情報を交換するとともに、保護者としてなすべきことを再確認し、附属学校の新たな可能性についても考察いたしたく、より実りあるプログラムを計画しているところです。PTA役員、教職員の皆様方の多数のご来場を心よりお待ち申し上げます。

なお、プログラムの一部を当日オンラインで配信いたします。また、プログラムの一部を後日編集済みのものも配信いたします。配信は、会員全員がご視聴いただくことができます。詳細は、後日お知らせいたします。

また、新型コロナウイルスの感染状況により、急遽、完全オンライン配信に切り替わる可能性がございます。予めご了承ください。その際は、またお知らせいたします。

敬具

記

- 開催日程 令和4年9月30日(金) 10月1日(土)
- 主催 一般社団法人 全国国立大学附属学校PTA連合会 (全附P連)
協力 日本教育大学協会 (予定) 全国国立大学附属学校連盟 (予定)
全国国立大学附属学校教育後援会連絡協議会 (予定)
後援 文部科学省 (予定)

3. 参加対象者 全国国立大学附属学校園の保護者および教職員

4. 開催目的
- (1) 日本の公教育を国立大学および附属学校と共に支える全国規模のPTA組織として、その社会的な責任と役割を対外的に強く表明する。
 - (2) 日本の将来を背負って立つ子どもの健やかな成長のために、附属学校のあり方を構築していく。
 - (3) 全国の附属学校関係者が一堂に会して、直面する全国共通の問題を認識し解決への道を協議するとともに、さまざまな事例や取り組みを共有する。

5. 開催場所 ハイアットリージェンシー東京 地下1階
〒160-0023 東京都新宿区西新宿2-7-2 TEL03-3348-1234

6. 参加費

学校登録料（幼稚園、特別支援学校を除く全校種）・・・ 25,000円/校
個人登録料（特別支援学校・学級）・・・・・・・・・・ 1,000円/人
（幼・小・中・高・中等・義務教育学校）・・・・・・・・ 3,000円/人

- * 学校登録料は、連盟登録における学校単位で徴収いたします。
（単位PTAあたりではありません。）不参加校からは徴収いたしません。
- * 幼稚園および特別支援学校は、学校登録料を徴収いたしません。
特別支援学級のみが参加の場合も、学校登録料は徴収いたしません。
- * 宿泊、交通手段等の手配・斡旋は、全附P連事務局では行いません。
- * 参加費は、大会終了後のお振込となります。請求書を送付いたします。
請求書をお受け取り後、10月末までにお振り込みください。

7. 参加申込方法

アドレス <https://zfpr-zenkoku.com/>

からお申し込みいただけます。

※登録・払込方法等の詳細は、9頁をご参照ください。



8. 参加登録申込期間

令和4年7月4日（月）13時 ～

令和4年7月22日（金）17時

- * 各学校園から1人でも多くの皆様にご参加いただきたく存じます。
- * 参加者概数把握のため、上記日程内にご登録をお願いします。
- * 会場の都合上、収容できない人数の登録があった場合は、人数制限をさせていただきます場合もございます。あらかじめご了承ください。
- * 全附P連（主催者）側にて、会場（ハイアットリージェンシー東京）内の保険は出席者全員にかけておりますが、参加者の自宅から会場までは、保険の対象外となります。

お申込のキャンセル、変更は、令和4年9月9日（金）17時までとさせていただきます。この後のキャンセルや変更は受け付けられません。

9. 払込日程

※今年度は、大会終了後のお振込みになります。

全国大会終了後に各学校園に請求書を送付させていただきます。

請求書受け取り後、10月末までにお振り込みください。

※請求額は、お申込み参加登録の額となります。

お申込みをされた方は、当日、会場（ハイアットリージェンシー東京）の研修に参加されなくても、お支払いいただきます。

キャンセル・返金には応じかねますので、ご理解の程お願いいたします。

10. その他
- *本大会は、コロナ禍の感染拡大防止の観点を踏まえ、座席指定とさせていただきます。座席は弊会で指定させていただきます。
 - *本大会では、SDGsの観点から、当日の資料などの配布物は全て電子化いたします。
資料は事前に学校にプログラムをPDFで配信いたします。必要な方はダウンロードし、ご印刷の上、ご来場ください。
なお、当日の資料（分科会も含め）は、会場でお渡しするQRコードをお読み取りいただき、ご自身のスマートフォンやタブレット端末などでご覧いただくことができます。
 - *当日、特別支援学校の皆様が作成した記念品と全附P連オリジナルエコバッグをプレゼントいたします。
11. お願い
- *会場では、万全の感染対策を講じさせていただきます。ご参加の皆様におかれましては、様々な制約やご協力をいただくことになると思いますが、ご理解いただきますよう、よろしくお願いいたします。
 - *弊社全国大会参加のため、ご予約いただく宿泊代や乗車券など交通機関のチケット代等に関して、全附P連として負担することはございません。ご理解の上、お申し込みください。
 - *新型コロナウイルスはお住まいの地域によって感染状況は異なります。十分ご考慮いただき、ご参加されるかをご判断ください。
12. お問い合わせ 全附P連研修委員会 kensyu.zenfu@gmail.com

■スケジュール■

□第1日目 9月30日（金）

12:00	開会(13:00)	I	14:30	14:50	II	16:10	16:30	III	18:00
受付	開会行事 70周年記念式典	休憩	70周年記念講演 岸 博幸	休憩	テーマ別分科会 幼稚園部会 特別支援部会				
	90分		80分		90分				

< 受付（一般） > 12:00～12:50

- *プログラム開始後も、随時受付いたしますが、なるべく12:30までにご参集ください。
- *記念式典の関係で12:50を過ぎますと会場に入れませんのでご了承ください。
- *スーツケース等のお手荷物は、会場のクローク（地下1階など）にお預けいただけます。

I. 開会式典 (13:00～14:30)

- 開会行事
 - 会長挨拶
 - 来賓挨拶
- 創立70周年記念式典
- 文部科学大臣表彰式（PTA功労者表彰）
- PTA団体活動表彰式

II. 70周年記念講演 (14:50~16:10)

「SDGs入門

～SDGsと日本の未来、今教育に求めること～

講師：岸 博幸 氏

慶應義塾大学大学院 メディアデザイン研究科 教授



講師プロフィール

通商産業省(現・経済産業省)入省後、コロンビア大学経営大学院にてMBAを取得。竹中平蔵大臣(当時)補佐官、政務秘書官などを務め、構造改革の立案・実行に携わる。現在は、テレビ番組のコメンテーターや講演会など幅広く活躍。広い知見を基に具体例を交えながらの講演は、信頼度も高く好評。

■職歴 経歴

- 1962年 東京都生まれ
- 1986年 一橋大学経済学部卒業
- 1986年 通商産業省入省(産業政策局、通商産業研究所等を経て)
- 1990年 コロンビア大学ビジネススクール留学(機械情報産業局、通商政策局等を経て)
- 1995年 朝鮮半島エネルギー開発機構(KEDO)出向
- 1998年 通商産業省資源エネルギー庁に復職
- 2000年 内閣官房IT担当室に出向
- 2001年 経済財政政策担当大臣補佐官
- 2002年 金融担当大臣補佐官を兼任
- 2004年 経済財政政策担当大臣・郵政民営化担当大臣秘書官
- 2005年 総務大臣秘書官
- 2006年 経済産業省退官 慶應義塾大学DMC統合研究機構助教授に就任
- 2008年 慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科教授に就任
- 2021年 菅義偉内閣において内閣官房参与に任命される。成長戦略や規制改革、経済広報戦略などの分野を担当。
その他、エイバックス取締役、ポリシーウォッチ・ジャパン取締役などを兼任。

■著書など

『オリンピック恐慌』(幻冬舎) 『アマゾン、アップルが日本を蝕む』(PHP出版) 『ネット帝国主義と日本の敗北』(幻冬舎) 『脱藩官僚、霞ヶ関に宣戦布告!』(共著:朝日新聞出版) 『ブレインの戦略』(あさ出版) 『クリエイティブ国富論』(ダイヤモンド・オンライン連載) 『コンテンツ立国の処方箋』(日経トレンディ・ネット連載)

Ⅲ. テーマ別分科会 (16:30～18:00)

校種を超えた5つのテーマに分かれた分科会を開催します。
各分科会は、講演や内容説明、シンポジウムを予定しています。
*個人毎に、テーマをお選びになりご登録ください。

a) <特別分科会>

各教育関係団体との協働分科会

全附P連以外の教育関係団体の方々と分科会を開催します。
※詳細は、後日ご案内いたします。

b) <分科会1>

「学校の働き方改革と今後の地域部活動の在り方」

～「スクール・コミュニティクラブ ひらの倶楽部」のチャレンジ～

発表者 松田 雅彦 氏 大阪教育大学附属高等学校平野校舎 主幹教諭

文部科学省は、令和2年9月に学校の働き方改革の観点から部活動を地域へ移行する方針を示しました。そしてスポーツ庁は、令和5年～7年度を部活動地域移行の「改革集中期間」とする提言案をだしています。

部活動の地域移行には、「保護者・生徒および教員等への説明・理解」「受け皿団体の持続可能性」「活動費用の確保」「施設使用料」「指導者等の育成・確保」「対外試合への対応」等の課題があります。そして、今後生徒や教員が地域部活動として活動するには、学校内に受け皿組織をつくるか外部の団体と学校が連携・協働するかのどちらかの選択となります。その選択基準は、どちらがより安価でより多くの生徒にスポーツや音楽・芸術を楽しむ場を提供できるかだと考えます。

大阪教育大学附属高等学校平野校舎では、外部団体との連携する場合、費用が高額になることや契約条件が合わなくなり撤退される可能性があることから前者を選択し、令和3年3月に「スクール・コミュニティクラブひらの倶楽部」を設立しました。分科会では、部活動が地域移行すると何が変わるのかについて、ひらの倶楽部を設立するに至る経緯とともにお話しいたします。

c) <分科会2>

感染症から未来を守る ～コロナだけではない感染症の話～

講師 具 芳明 氏 東京医科歯科大学 教授

新型コロナウイルス感染症の流行は私たちの生活を大きく変えました。感染症の流行が健康被害だけでなく、社会全体に大きな影響を与えることをこのパンデミックを通じて実感した方も多いことと思います。マスク、PCR検査やワクチンなど、感染対策に関連する諸々も注目を集めました。感染対策にはこれさえやっておけば完璧という方法はなく、様々なことを組み合わせることで全体としてリスクを下げていく考え方が大切です。

新型コロナウイルス以外にも重要な感染症は多くあります。正しい知識や対処方法を知っていれば感染するリスクを下げ、感染しても重症になるリスクを下げることができます。なかでもワクチンは感染症予防のもっとも強力な手段です。最近の話題としてはヒトパピローマウイルス（HPV）ワクチンがあります。子宮頸がんワクチンとして知られているものです。薬剤耐性（AMR）も世界的な問題となっています。AMRとは抗菌薬（抗生物質）の効きにくい細菌のことで、抗菌薬の使い方が大切です。

今回は新型コロナウイルスに加え、ぜひ知っていただきたい感染症のトピックについてお話します。感染症のリスクをどのように下げていくのか、そして感染症から未来を守るにはどうすればよいのか、一緒に考える機会になれば幸いです。

d) <分科会3・幼稚園部会>

講師 佐々木 晃 氏 鳴門教育大学教職大学院 幼児教育コース 教授

(鳴門教育大学附属幼稚園 前園長)

附属幼稚園で長きにわたり幼児教育に携わり、子どもたち・保護者・教職員からも絶大な信頼を受けてきた佐々木教授。

わが子とのかかわり方や、健やかな成長のために保護者が理解すべきことなどを楽しいエピソードを交えながらお話いただきます。

e) <分科会4・特別支援部会>

講師 児玉 千賀子 氏 特定非営利法人 アジェンダやまがた 代表理事

(山形大学附属特別支援学校 元PTA会長)

小学部から高等部まで学齢が幅広く、お子さまの個性もさまざまな特別支援学校・学級の保護者にとって悩みはそれぞれありますが「放課後（余暇）の過ごし方」もそのひとつです。

児玉氏は音楽を通じた成長（療育）に特化した放課後等デイサービスを自ら立ち上げ運営することを中心に「誰もが暮らしやすい地域」づくりに邁進しておられます。

ご自身も附属特別支援学校の元PTA会長でおられたお話も交えたご講演で、わが子との関わりにプラスになるパワーを山形から届けていただきます。

*テーマの選定と参加登録にあたって（お願い）

◎各学校園から1人でも多くの皆様にご参加いただきたく存じます。

そして、<特別分科会>、<分科会1>、<分科会2>、それぞれの分科会に、偏りのないようバランス良く参加・ご登録のうえ、皆様に情報交換していただければ幸いです。

◎分科会3は、幼稚園からの参加者が主な対象となりますが、その他の学校園の方も、参加登録いただけます。

◎分科会4は、特別支援学校・学級からの参加者が主な対象となりますが、その他の学校園の方も、参加登録いただけます。

◎会場の都合上、収容できない人数の登録があった分科会は、人数制限をさせていただく場合もございます。あらかじめご了承ください。

◎決定した分科会の変更はできかねます。予めご了承ください。

※休憩時は、あいさポーター研修動画上映と、絵画コンクールのスライド上映、特別支援学校の子どもたちが作成した記念品の販売を予定しております。是非お立ち寄りください。

□第2日目 10月1日(土)

8:30	9:00	IV	10:00	V	10:55 11:15	VI	12:35 (12:40)	閉会
受付	全国大会基調講演 齋藤 孝教授	60分	省庁行政説明 全附P連活動報告	55分	休憩	パネルディスカッション	80分	閉会行事 5分

< 受付 > 8:30～8:50

プログラム開始後も、随時受付いたしますが、できるかぎり8:50までにご参集ください。
*スーツケース等のお手荷物は、会場のクローク(地下1階など)にお預けいただけます。

※8:55～ 2日目スケジュール紹介 基調講演 講師プロフィール紹介 など

IV. 基調講演 (9:00～10:00)

「生きる力を育てる学力」

講師： 齋藤 孝氏 (明治大学文学部 教授)



講師プロフィール

1960年、静岡県静岡市生まれ。東京大学法学部卒業。東京大学大学院教育学研究科博士課程等を経て現職。専門は教育学、身体論、コミュニケーション論。『身体感覚を取り戻す』(NHKブックス)で新潮学芸賞受賞。2001年に出した『声に出して読みたい日本語』(草思社、毎日出版文化賞特別賞受賞)が、シリーズ260万部のベストセラーになり、日本語ブームをつくった。著書累計出版部数は、1000万部を超える。

現在、文部科学省「幼児教育と小学校教育の架け橋特別委員会」委員。

■著書

『読書力』(入試出題率1位) 『コミュニケーション力』 『新しい学力』 (岩波新書)
『現代語訳 学問のすすめ』 『現代語訳 論語』 『質問力』 『段取り力』 (筑摩書店)
『理想の国語教科書』 (文藝春秋)、 『雑談力が上がる話し方』 (ダイヤモンド社)
『齋藤孝のイッキに読める! 名作選』 (講談社)
『小学生なら知っておきたい教養366』 (小学館)
『齋藤孝の小学国語教科書』 (致知出版社) 等多数。

■テレビ出演

NHK Eテレ「にほんごであそぼ」総合指揮
NHK総合「あさイチ」「シブ5時」「ニュースウォッチ9」「週刊丸わかりニュース」
日本テレビ系「世界一受けたい授業」
フジテレビ系「全力!脱力タイムズ」「Live News イット!」
TBSテレビ系「情報7days ニュースキャスター」「東大王」「あさチャン!」MC 等多数。

V. 省庁行政説明 全附P連活動報告 (10:00~10:55)

<省庁行政説明>

文部科学省 教員養成企画室、財務省、金融庁 (予定)

<全附P連活動報告>

<カンガルー保険紹介>

VI. パネルディカッション (11:15~12:35)

「SDGsから考える ～附属のこれまでとこれから～」(仮)

■活動発表

学校とPTA活動の参考事例を発表していただきます。

■ディスカッション

学校連盟、PTA連合会、活動発表学校、文部科学省(予定)の代表者をパネリストにお迎えし、意見交換をいたします。

閉会行事 (12:35~12:40)

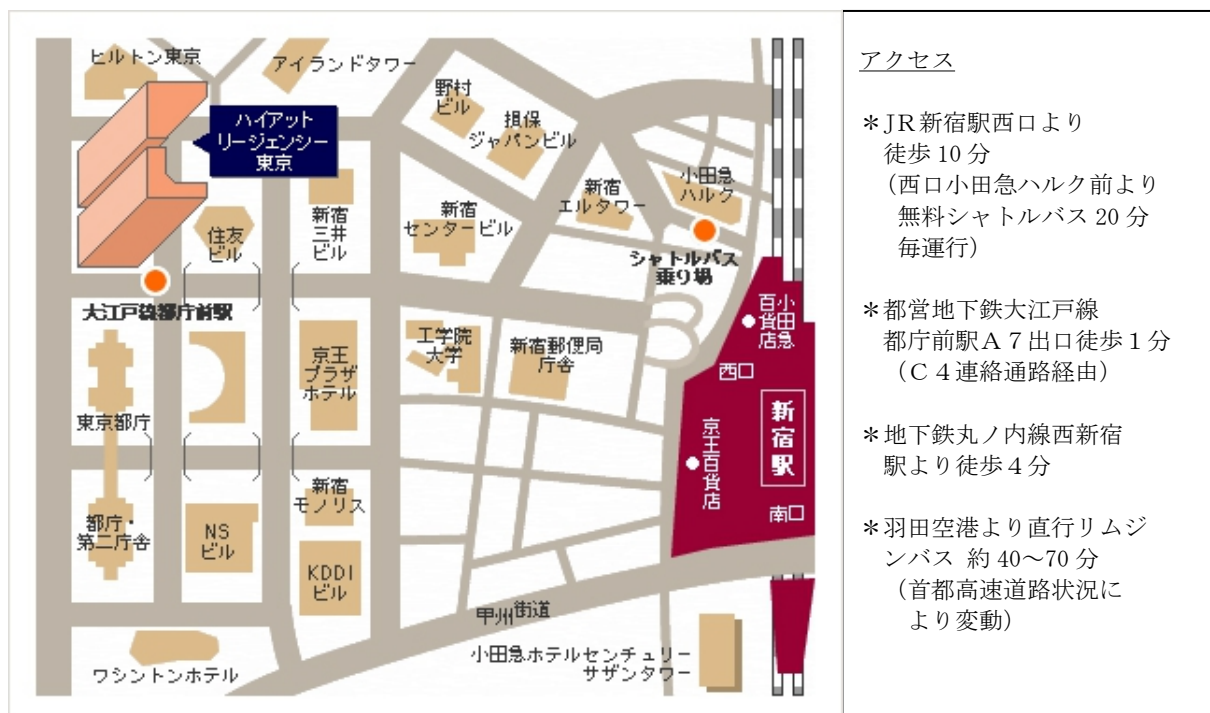
大会宣言

閉会の言葉

※休憩時は、あいさポーター研修動画上映と絵画コンクールのスライド上映、特別支援学校の子どもたちが作成した記念品を販売予定です。
是非お立ち寄りください。

<会場> ハイアットリージェンシー東京(地下1階 宴会場)

〒160-0023 東京都新宿区西新宿2-7-2 TEL 03-3348-1234



全附P連 P T A研修会 第 13 回全国大会 参加申し込み方法

1. 参加登録（申し込み）方法

アドレスからの参加登録

QRコードからの参加登録



<https://zfpr-zenkoku.com/>

- *申し込みは、学校単位で、申し込み責任者お一人が管理をお願いします。
- *パスワードは、各学校園にて新たに設定をお願いします。
また、忘れないよう適切な管理をお願いします。
万一、忘れた場合は、参加申し込みフォームの最下段「パスワードを紛失された方」よりお手続きをお願いいたします。
- *初回入力や登録内容の確認・変更は、全附連事務局を通さず、各学校側でできます。
参加者情報を入力いただくと、参加者情報確認画面・請求金額確認画面等が確認でき、入力情報の自動返信もあります。

2. 参加登録申込期間

令和4年 7月4日（月） 13時 ～ 令和4年 7月22日（金） 17時

3. 参加費

学校登録料（幼稚園、特別支援学校を除く全校種）・・・ 25,000円/校
個人登録料（特別支援学校・学級）・・・・・・・・・・・・ 1,000円/人
個人登録料（幼・小・中・高・中等・義務教育学校）・・・ 3,000円/人

4. お申し込み後の参加登録内容の変更について

- 参加登録内容の変更は、令和4年9月9日（金）まで行えます。
それ以降、主催者側の判断による開催中止以外のキャンセル、変更は受けかねます。
*HP参加申し込みフォームの中段「登録情報の変更・追加・削除」から、参加者の登録内容の修正が期間中いつでもできます。また、変更内容の自動返信もあります。
*参加登録内容が変更になる場合は、可能な限りの修正をお願いします。

5. 費用の払込期間

- ※大会終了後のお振込みになります。
全国大会終了後に各学校園に請求書を送付させていただきます。
請求書をお受け取り後、10月末までにお振り込みください。
※請求額は、お申込み参加登録の額となります。
お申込みをされた方は、当日、会場（ハイアットリージェンシー東京）の研修に参加されなくても、お支払いいただきます。
キャンセル・返金には応じかねますので、ご理解の程お願いいたします。
払込手数料は貴校園にてご負担ください。

6. その他

別便で教育後援会会長会のご案内をお送りいたします。教育後援会会長会にご参加の方がいる場合は、後援会会長会分も合わせてご入金ください。後援会会長会ご参加でP T A全国大会にご参加いただく方がいない場合は、学校登録料はいただきません。

7. お問い合わせ窓口

研修委員会 kensyu.zenfu@gmail.com

- *本研修会に関するご質問は、全附連事務局ではなく、まずはこのアドレスへメールでお問い合わせください。数日中には回答させていただきます。